

校報 悠遠 ～ゆうえん～

聡明な人間 豊かな人間 たくましい人間

【願う学校像】高い志と興文愛をもち、何事にもひたむきに取り組む興文中

◇夢や目標をもつ

◇達成の方法を工夫する

◇仲間と共に高まる

◇あきらめず何度も挑戦する

大垣市立興文中学校

校長 清水 昭治

生徒数 338名

大垣市西崎町1-82

〒78-3068

令和元年9月2日発行

<http://www.ogakicity.ed.jp/kouchu/index.html>

■「みんなで燃えて」「絆を深め」

6つのアクションプランを実現する2学期に

校長 清水 昭治

猛暑と大雨に見舞われた夏休みでしたが、「一人でもがんばれた夏休み」だったでしょうか。一人一人が自分で決めた目標や計画と比べながら足跡を振り返り、成果（成長）と今後の課題を明らかにし、2学期以降、これからの生活・学習に活かしていってほしいと思います。

中体連等の各種大会やコンクール等では、どの部活動もどの選手・生徒も、3年生を中心に、仲間と共に最後まであきらめずに試合等に臨む興文魂を存分に発揮し、団体では女子ハンドボール部の県大会優勝、個人では陸上の日比野陸さんと相撲の生駒智之さんの県大会優勝をはじめとして、多くの結果や成果を収めてくれたと思います。

これから始まる最も長い2学期では、体育大会（9/19）や研究発表会（10/12）、興文祭（11/8）など、みんなで燃えて、自分や仲間が共に成長し合い、絆を深めることができる機会が目白押しです。ぜひ夏休みのすばらしい成果や成長を生かし合って、今年度の6つのアクションプランの実現に迫っていきましょう。

- 1 「授業中、意見を発表するのが得意だ」という生徒を増やす。
- 2 「家庭で、自分で計画して学習している」という生徒を増やす。
- 3 「将来の夢や希望をもっている」という生徒を増やす。
- 4 「自分にはいいところがある」という生徒を増やす。
- 5 「学級（学年）の仲間全員と共に何かをやり遂げてうれしかったことがある」という生徒を増やす。
- 6 「自分から地域の人に挨拶をしている」という生徒を増やす。

これらの具現を目指すことを通して、全校生徒が「一人一人が学びや育ちの主人公」としての自覚を深め、生きる力を身に付けていくことを期待しています。

最後になりましたが、中体連の各種大会やコンクール等をはじめ、夏休み中の生徒たちの活動を支援応援をいただいた保護者、コーチ、地域の皆さんに心より感謝申し上げますとともに、これからも温かくご支援いただきますようお願い申し上げます。

◇今月の生徒の「思い」

1年 『給食委員として』

4月当初、クラスの配膳のスピードが遅く「このままではだめだ。」と思い、僕は給食委員に立候補しました。給食委員になったばかりの5月の頃は、なかなか10分配膳ができませんでした。そこで、給食班のメンバーで朝・帰りのCTの時間に話し合い、様々な改善案を出しました。その一つとして『全員が給食の準備をしてから移動する』ということです。その様々な改善案を生かして、素早くエプロンを着たり、手を洗ったりして、ついに10分で配膳することができました。僕は給食委員として、とても嬉しかったし、達成感がありました。そして、6月の委員会で『5分着席の徹底』という目標が立てられました。そこで、配膳の時間をさらに速くするためには、クラス全員の協力が必要だということが分かりました。学級委員にも協力してもらい、5分着席の取り組みが始まりました。最初はなかなか成功しなかったものの、次第にクラス全体の意識が変わり、成功する回数が増え、7月には配膳の時間も短くなりました。さらに、4時間目が移動教室のときでも、10分配膳ができるようにもなりました。それは、4時間目の前に全員が給食準備をし、給食当番の人たちが素早く教室に戻り、配膳をしていたからだと思います。

1学期を通して、クラスの配膳はとても速くなりました。給食班長の呼びかけや給食委員が作った配膳についてのマニュアル、そして、クラス全員の協力があったからだと思います。この1学期



で積み上げた力を無駄にせず、2学期さらに高めていきたいです。

2年 『チーム一丸』

私は、バスケットボール部に所属しています。そして、この夏に1番頑張ったことは、部活動です。昨年の夏に達成することができなかった「市大会優勝」「県大会出場」を目標に掲げ、学年関係なくチーム一丸となって励まし合いながら努力を重ねてきました。いよいよ、中体連が始まりました。攻めるときも守るときも仲間に届くような大きな声で応援し、シュートが入ったときは全員が自分のことのように喜びました。その結果、市大会では優勝を手にすることができました。優勝が決まったとき、全員が嬉し涙を流している姿は強く印象に残っています。しかし、次の目標であった県大会出場にはあと一歩及ばず、悔しい思いを残したまま終わってしまいました。嬉しいときも悔しいときもありましたが、「チーム一丸」となって頑張ってきたからこそ、流せた涙だったと思います。夏休みが明けると、すぐに体育大会への準備が始まります。私は、青団の団リーダーとして、この夏のバスケットボール部のように「チーム一丸」となる団を目指していきます。そのために、誰よりも大きな声を出したり、仲間一人一人にかかわったりすることを積み重ねて、チーム全員の気持ちが1つになるように努力していきます。



3年 『環境を通して得た成長と絆』

環境委員長に立候補した私は、まず自分の学級の環境を変えていこうと決意しました。4月当初は、制服をきれいにたためている人は限られ、第2カバンの外には物が詰め込まれているという状態でした。呼び掛けをしましたが、毎日きれいに整えている人は決まってい、イライラがたまることもありました。

「もう別に、教室環境をきれいにしなくてもいいんじゃない？」

そう思い始め、あきらめかけていたときに、担任の先生から

「最近、ある子が『自分はずまく制服がたためない。みんなの足を引っ張らないようにどうやってきれいにたためるか、教えてください。』と聞きに来たんだよ。」



と言われ、驚きました。今まで注意してもなかなか直らなかった仲間が、実はこんな思いをもっていたと知りました。そして、環境に対する自分の呼びかけ方をもっと工夫しようと思いました。最初に行ったのがポスター作りです。模範となる仲間の写真を載せ、たたむコツやそろえるポイントを書き込み、一目で分かるようにしました。見出しには思いを込めて「目指せ！全校No.1」と書きました。次に制服とかばんの抜き打ちチェックを行いました。気になる人を挙げるのではなく、よかった人の名前を広めること、注意ばかりではなくプラスの言葉を付け加えて話すことを決めました。次第に厳しい基準で評価をしても、みんなが前向きに整えてくれるようになりました。1学期後半では、時間がない中でも制服をきれいにたためるようになったり、前まで環境委員が手助けしていた状態だったのが、自分からきれいにそろえられるようになったりする姿を見てとても嬉しかったし、やりがいを感じました。今では私が見ている中で、全校で一番きれいだと言えます。クラスの仲間の思いを伝えてくださった先生や、取組に協力してくれた仲間へ感謝しています。もうすぐ体育大会です。1学期の成果と学級のみみんなを信じて、2学期もがんばります。

9月の行事予定

日	曜	主な行事
1	日	
2	月	2学期始業式 教育実習開始(27日まで)
3	火	
4	水	リフレッシュデー
5	木	
6	金	
7	土	土曜授業
8	日	西地区三世代つどいの広場
9	月	
10	火	
11	水	リフレッシュデー
12	木	
13	金	
14	土	
15	日	
16	月	敬老の日
17	火	心電図(1年)
18	水	リフレッシュデー
19	木	体育大会 ※弁当、水筒持参
20	金	体育大会予備日 ※給食あり
21	土	
22	日	
23	月	秋分の日
24	火	
25	水	リフレッシュデー
26	木	後期生徒会選挙
27	金	委員会・教科係会 学習評価の日
28	土	科学の甲子園 Jr 県大会 興文地区敬老会(合唱部参加)
29	日	
30	月	

10月の主な行事予定

- 1日 認知症サポーター養成講座(2年)
- 3日 高校1日入学 4日 中間テスト
- 5日 土曜授業 7日 全校集会・認証式
- 12日 中間まとめの会(授業参観)
- 15日 振替休業日 17日 小中よもやま話
- 19日 西濃駅伝大会 23日 市教科研
- 30日 実力テスト(3年)